



中間報告会 2022.10.28

発表内容

1. 事業概要、6月～10月の活動概要
2. 活動アンバサダー21名のアンケートと今後の活動意向
3. ビフォー&アフターで変化のあったアンバサダーの要因分析
4. 今後への期待と課題



プロジェクト概要

地域のものがたりを乗せて



地域ものがたるアンバサダーとは？

JR西日本×沿線自治体公認の
地域ものがたるアンバサダーを3地域
7名ずつ募集します！

JR西日本
グループ



富山県
福井県
鳥取県

公認

第2のふるさとづくり
地域アンバサダーチーム

 (7人1組)

活動

新しい魅力発掘
対外発信
体験プログラムづくり

さあ、あなたは、どの県でもものがたる？



地域内外の交流の仕組み



【県外から公募する、地域アンバサダー】

- ◆ **県外**から毎月通ってくる、多彩な感性をもったアンバサダー7人組
- ◆ 地域の本質的な魅力を再発見するとともに五感をフル活用した新しい楽しみ方、暮らし方、営み方、使いこなし方を発見・発信していく

コラボ・感性の掛け合わせ
によりプログラムを創出

【地域側の水先案内人・物語を伝える人】

- ◆ 地域でご活躍中の事業者や個人
- ◆ 生産者・職人・シェフ・地域づくり関係者…
- ◆ 地域おこし協力隊・OB・UIターン者
- ◆ 地域の隠れた楽しみ方を知っていらっしゃる & 新たな地域の魅力発掘にご関心のある方
- ◆ チームに伴走する事務局メンバーも、オンライン作戦会議や現地ツアーには随時伴走し、ご一緒に再発見を楽しみます。

アンバサダーに適している方（多様・多彩な7人組）

- ◆ 公募対象エリアに**思い入れ・愛**のある方
- ◆ 新しい物事・面白いこと・美味しいものへの**好奇心が強く、主体的に活動**いただける方
- ◆ 対象地域外居住で**年5回程度は現地訪問**できる方
- ◆ 7人で協力して毎月何かしらのトピックスを発信
- ◆ 何か生かせる**特技がある！**
(SNS発信、人脈づくり、嗅覚、物知り…)

2022年度の推進スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月
観光庁モデル 実証事業	実証事業着手								実証事業完了
一般公開 イベント	5/17~31 アンバサダー 公募期間	6/2~6/3 アンバサダー 確定通知			9/24(土) 発酵ツーリズム コラボ対談				1月頃 振り返り フォーラム
チーム内 イベント		6/7(火) アンバサダー キックオフ会	7/12(火) 活動応援カ キックオフ会					地域越境 振り返り会	
美食地質学と ジオリブの旅	オンライン 講座	6/7(火) キックオフ ガイダンス							
	現地探訪 での学び	6/25(土) 13:30~ ジオリブ公開 講座@大山	7/23(土) 14:00~ ジオリブ公開 講座@福井	8/27(土) 15:00~ ジオリブ公開 講座@立山	10/15(土) 14:00~ ジオ交流会 @富山市	10/29(土) PM ジオ交流会 @鳥取市	11/26(土) PM ジオ交流会 @小浜市		
オンライン チームMT+ 現地ルポ旅 活動期間	富山チーム 活動	南砺・庄川エリア		立山町エリア		富山湾エリア			
	福井チーム 活動	福井市エリア		若狭湾エリア					
	鳥取チーム 活動	大山町・北栄町エリア			鳥取市エリア				
		チーム訪問	チーム訪問	◆ジオ探訪	チーム訪問	◆ジオ交流	チーム訪問		
		チーム訪問	◆ジオ探訪	チーム訪問	発酵コラボ	チーム訪問	◆ジオ交流		
		◆ジオ探訪	チーム訪問	チーム訪問	チーム訪問	◆ジオ交流			

月1回×6ヶ月 = 6回の現地訪問活動

※各開催日時は今後変更
の可能性があります。

地域への思い・関わりが深まっていくステップ

① 美食地質学を学ぶ・創る
(座学編から現地編へ)

※以降のステップでも継続取組

まったく興味のない
身周りの人たちも感化される。
(二次的効果)

② 共感できる人や地域の営みに
出会う、チーム企画旅

特に関わりの
ない状態

スタートライン

地域に眠る
資源を知る

人に会う・体験する
→ 体感する・共感する

③ 共感の輪を広げる
旅ルポ発信活動

ごひいきになる
リピートする
もっと深く知る

④ 交流プログラム
づくり等に挑戦

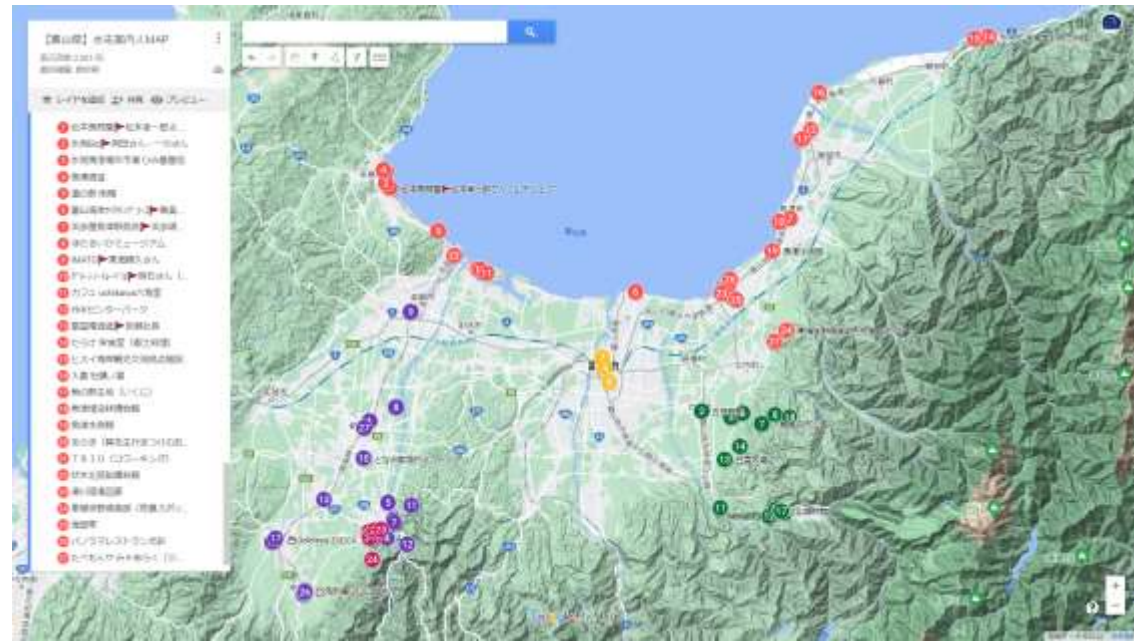
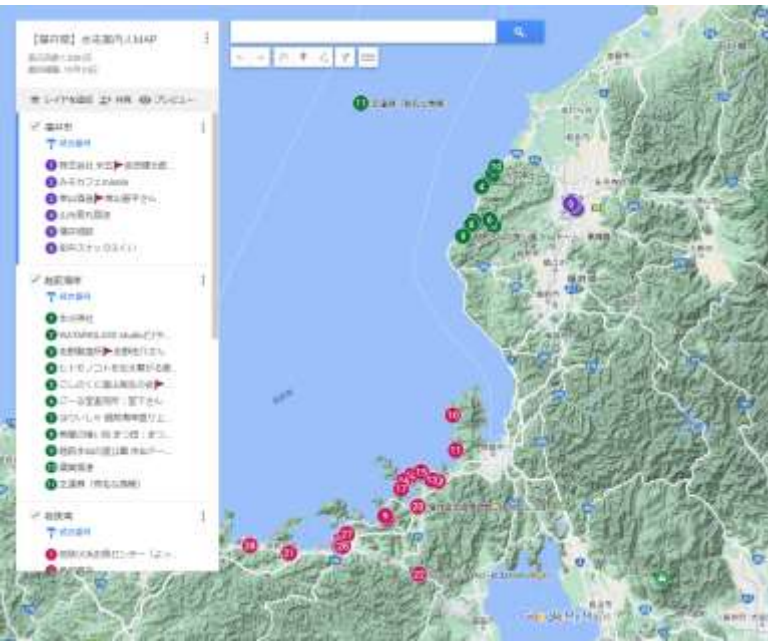
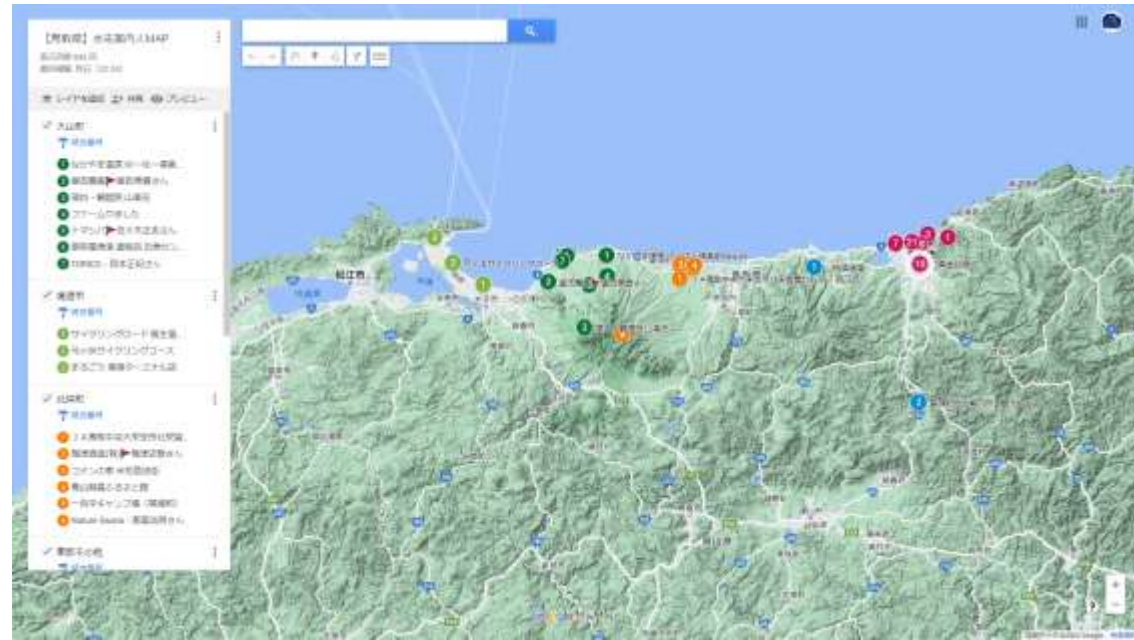
地域と一緒に
何かを産み出す

⑤ 越境交流会やフォーラム
でのさらなる気づき

地域のチームの
一員として活動継続



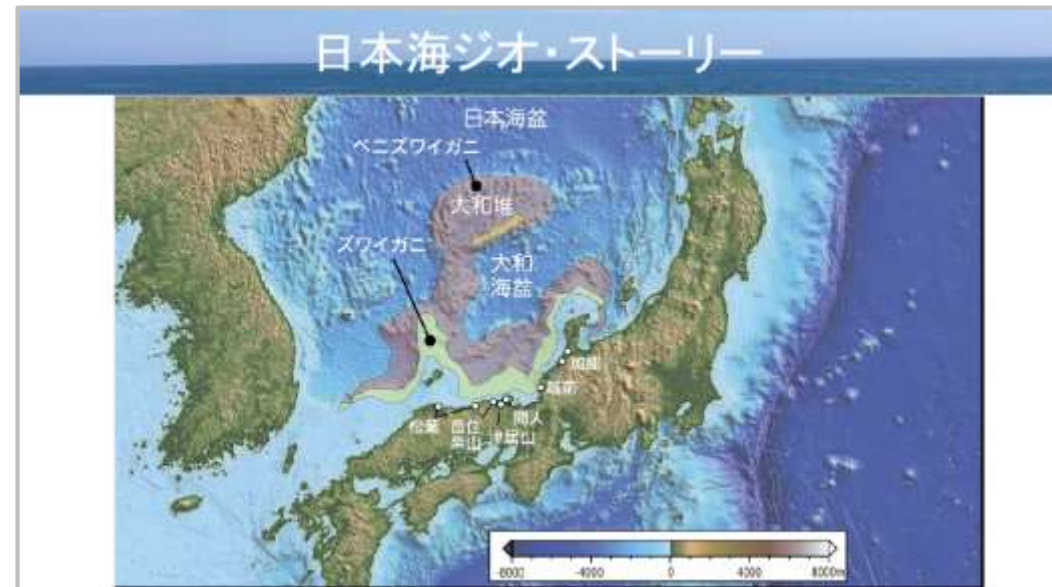
各県、水先案内人マップも参考に毎月チーム企画旅



「美食地質学」を学ぶと何が見えるのか？



- 「美食地質学」とは、ジオリブ研究所の巽先生が提唱されている、美味しく楽しい学問です。
- 「〇〇のお魚は美味しい」など日頃何となく感じていたことを、その食文化誕生の必然の歴史などから深く理解することで、新たなその地域ならではの魅力や、今後磨いていくべき文化・育てていくべき産業が自ずと浮かび上がってくるプロセスを、地域アンバサダーと地域の案内人と皆で一緒に体感します。
- 地域の固有性を解き明かす軸となるジオストーリーが明確になることで、その後の地域のブランディングやコンテンツ開発の軸が見えてきます。



- ジオリブ研究所 <https://geo-live.jp/>
- ジオリブの旅等の動画 <https://www.youtube.com/channel/UCENCvJosl2AdeTBUGO4Wehw/videos>

6月・10月 ジオ交流 の舞台

鳥取! TOTTORI

鳥取の象徴は砂丘と大山。決して豊かとは言えない土壌ですが、なぜ全国有数の農産物生産県になったのか？その秘密を探りながら、地域の人々の営みに迫る旅に出かけませんか？

大山町エリア

海・里・山の恵みがコンパクトにつまった大山町は、大山ブロッコリー、白ネギをはじめ、農業・畜産・漁業すべてのさかんな地域。自然の恵みを肌で感じながら、地域の方々の声に耳を傾けてみましょう。

北栄町エリア

黒ボク大地と由良川、北条砂丘に囲まれた小さな町。名産の大栄西瓜、ねばりっこ、砂丘風力発電など、先人たちの努力と知恵に学びながら、地域の未来を考えましょう。

鳥取市エリア

日本海、砂丘、千代川に育まれた、民藝文化も息づく城下町、鳥取市。食材王国・鳥取の特徴を最大限引き立たせるお料理とお酒のマリアージュを、一緒に味わい考えてみましょう。

鳥取県の 水先案内人の みなさま



黒ボク土壌 と戯れる



7・9・11月 ジオ交流 の舞台

福井! FUKUI

「越山若水」という言葉をご存じですか？宗教行事と結びついた郷土料理や発酵食に学び、美味しくいただきながら、この言葉の物語を磨き上げる旅に出かけませんか？

福井市・越前海岸エリア

多様な形で生活に根付いている大豆文化や郷土料理を体験したり、海と山に挟まれた長い海岸線で活躍する「越前海岸盛り上げ隊」の皆さんに遊び方を学びながら、魅力を再発見しましょう。

若狭湾エリア

京の都の食文化を長年支えてきた「御食国・若狭」では、恵まれた環境と伝統を生かしながら新しい食産業へのチャレンジも。新たな御食国ブランドを一緒に考えましょう。

福井県の 水先案内人の みなさま



発酵文化と
と戯れる



8月・10月 ジオ交流 の舞台

富山 TOYAMA

食とお酒の宝庫、富山を語る上で外せないのが立山連峰と富山湾。その背景には太古の地球活動があります。ダイナミックで美味しい富山の物語を探しに出かけませんか？

南砺・庄川流域エリア

「土徳」スピリットの根付く南砺。散居村の美しい庄川流域。新たな地域づくり・人づくり・ものづくり・酒づくりに励む方々のスピリットに触れ、地のものを生かした新たな美食文化づくりをご一緒しましょう。

立山町エリア

立山連峰の裾野に、ハーブ&サウナの癒しの拠点、マウンテンバイクのトレイル、新たな日本酒の醸造拠点…さまざまな夢をカタチにする人が現れるこの地の魅力は何なのか、一緒に解き明かしましょう。

富山湾エリア

「天然の生け簀、富山湾」には9つもの市町が串刺しに並びます。湾のめぐみを異なる形で活かしあっている産品・文化の違いも楽しみながら、新たなアクティビティスタイルも考えてみましょう。

富山県の 水先案内人の みなさま



富山湾の幸や
立山の文化
と戯れる



大地の声、人々の営みに耳を傾け、交流と発信！
未来の地域づくりに繋げる1年間！

©misa-grareco

富山県ジオリブ公開講座

2022年10月15日@富山市

主催：日本海3県アンバサダー推進協議会



テーマ「天然の生簀・富山湾が育む、魚介と富山のお酒のマリアージュ」

第1部 富山湾のジオストーリー

第2部 水先案内人とのパネルディスカッション

富山湾の豊かな恵みと富山酒のマリアージュ



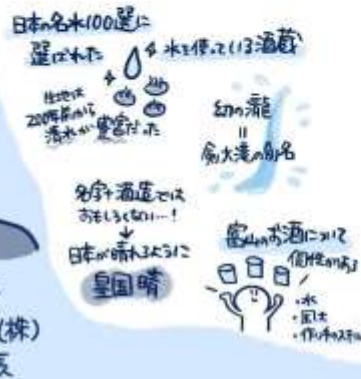
関好幸氏
ジオリブ研究所長



松本幸一郎氏
(有)松本魚問屋
専務取締役



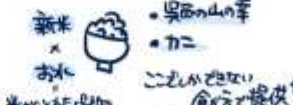
東海勝久氏
(株)IMATO
代表取締役社長



岩瀬新吾氏
皇国晴酒造(株)
社長

- ・日本酒を楽しむ酒場経営
- ・X2のコンカレイング

富山の食文化のなかで



濱野雄太氏
hamadaya LABO
本部長



(狙い) めざすコミュニティプラットフォーム

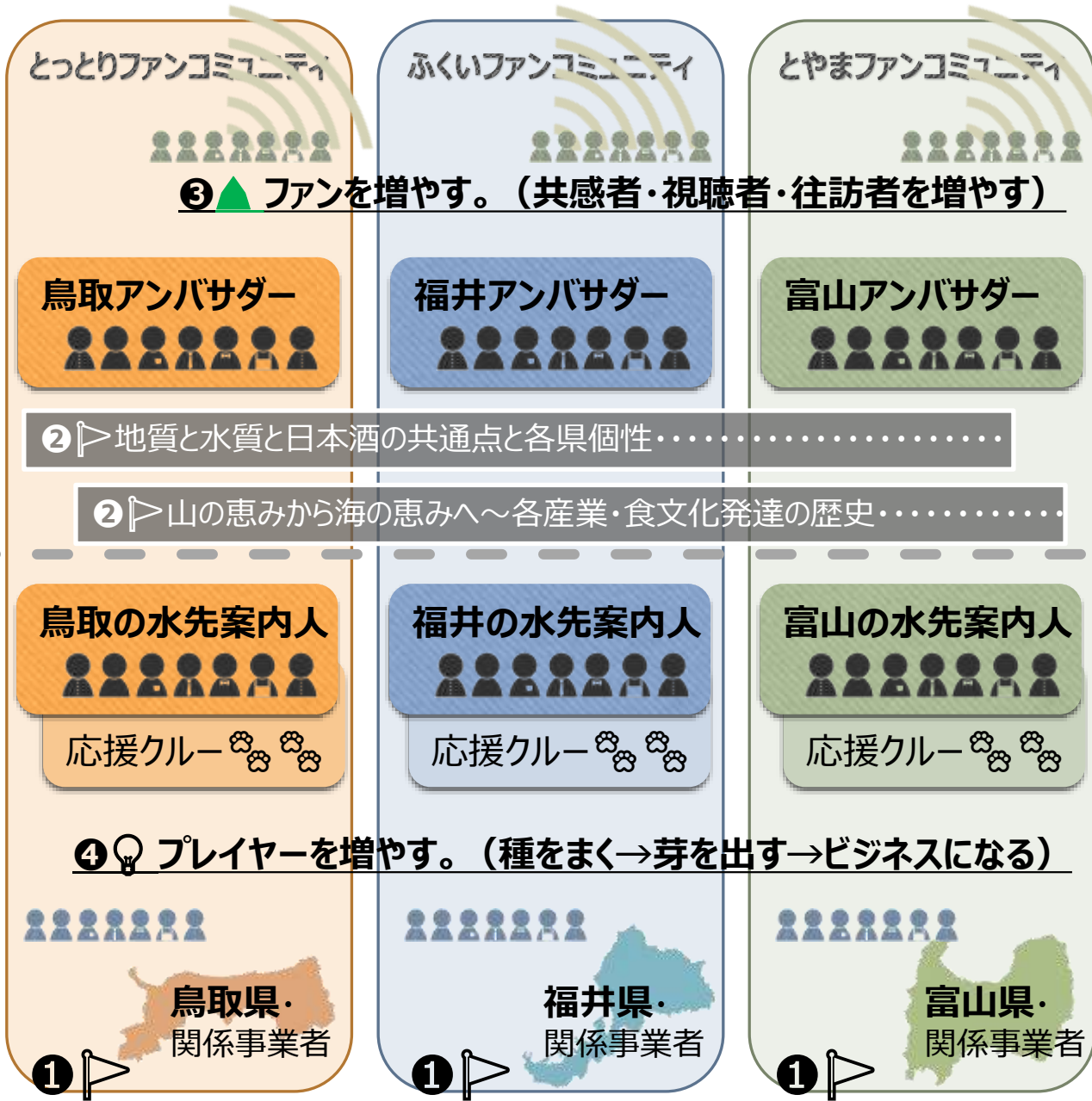
今回育てていく、
コミュニティプラットフォームの目的

- ① ▶ タテ糸を編む。
- ② ▶ ヨコ糸を編む。
- ③ ▲ 裾野を広げる。
- ④ 💡 プレイヤーを増やす。 地域外からの視点

共通のテーマ
新しい価値発見

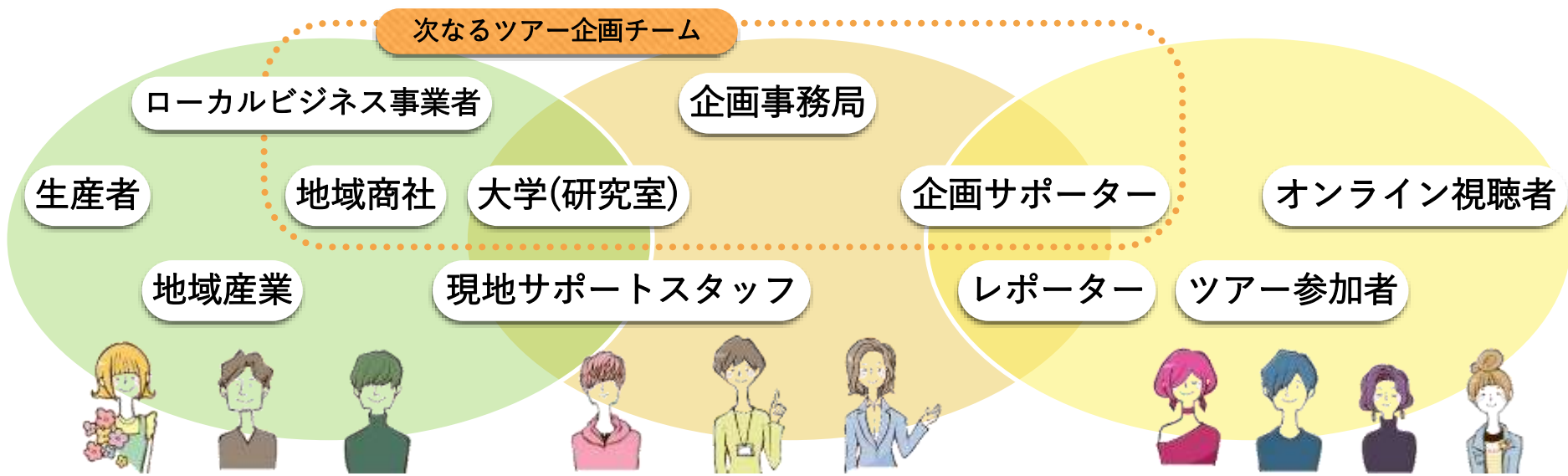
地域内
での再発見

- ① 地域内のツナガリ
- ② テーマ別の発見、
新しいブランド価値
- ③ それに共感者がつく→口コミ
- ④ 地域の営み・産業へ



(狙い) 徐々に生産者と消費者はボーダレスに。

地域側関係者 事務局 参加者・ファンコミュニティ



いちオーディエンスから、関わる人へ。

お手伝いする人から、主体者へ。

(狙い) めざす地域と人の関係性

西日本のローカルエリア間の往来の活性化（往来・交流の種類が増える）



Urban Area
今の住まい・職場

👤 一般サラリーマン
👨👩 一般ファミリー

流入

Local Area 1
まずは観光気分で
行ってみるエリア

👤 外部人材の流入
👨👩 新しいライフスタイル
👤 新しい需要

刺激・交流

Local Area 2
定期的に通い
はじめたエリア

👤 コラボ事業
👤 将来の関わり代を
事前にもつ

補完関係

Local Area 3
将来住んでもいい
と思えるエリア

👨👩 UIJターン予備軍

一員として参画

ローカルビジネス会社
(地域商社、まちづくり組織等)

複業 産業 教育 趣味

Step 1: 知る
共感する

Step 2: 応援する
好きになる

Step 3: 手伝う
関わる

Step 4: 一緒に
事業化する

1. ローカルエリアへの往来・交流の種類が増える（従来の観光・出張のみでない、オンラインを契機とした本質的な交流）
2. 地域への外部人材流入により見えてくる、新しいニーズ、魅力の再発見、複業や趣味としての新しい関わり代
3. 地域で活動している地域商社やまちづくり組織等の担い手の多様化、事業多角化により、よりサステナブルな地域に



取組成果の分析

地域のものがたりを乗せて



当初の設計のポイント（ターゲット層）

今回のアンバサダーPJのターゲット＝【B～C】

お客さん側から担い手側への変貌支援プロジェクト！

▶ 入口は緩く。「興味・関心・好奇心・旅仲間づくり」をマグネットに、「今まで～～しようと思っていたけれど行動に起こせなかった」層をキャッチ。

▶ 出口は深く。「ある地域とゆるく関係継続 or コミットする人材確保」 → 離脱者、継続希望しない、関わり続ける層にわかれる

A. 既存の尖った関係人口PJ

さとゆめ100DIVE、TURNS・ETIC等ローカルベンチャー育成系プログラム → 応募時から腹をくくっているの、定着率高い

イノベーター

A



2.5%

B. 既存の緩めの関係人口PJ

逆参勤交代、とやまつながるラボ、しまこト・たなこトアカデミー → 地域に定着する／しない、二分される

アーリーアダプター

B



13.5%

キャズム（深く大きな溝）

C. 少しだけ尖った観光ツアー

少し深く交流してみよう系ツアー、暮らすように泊まる、多拠点居住系サービス → 地域と深い関係性もたないで去る方が多い

アーリーマジョリティー

C



34%

レイトマジョリティー



34%

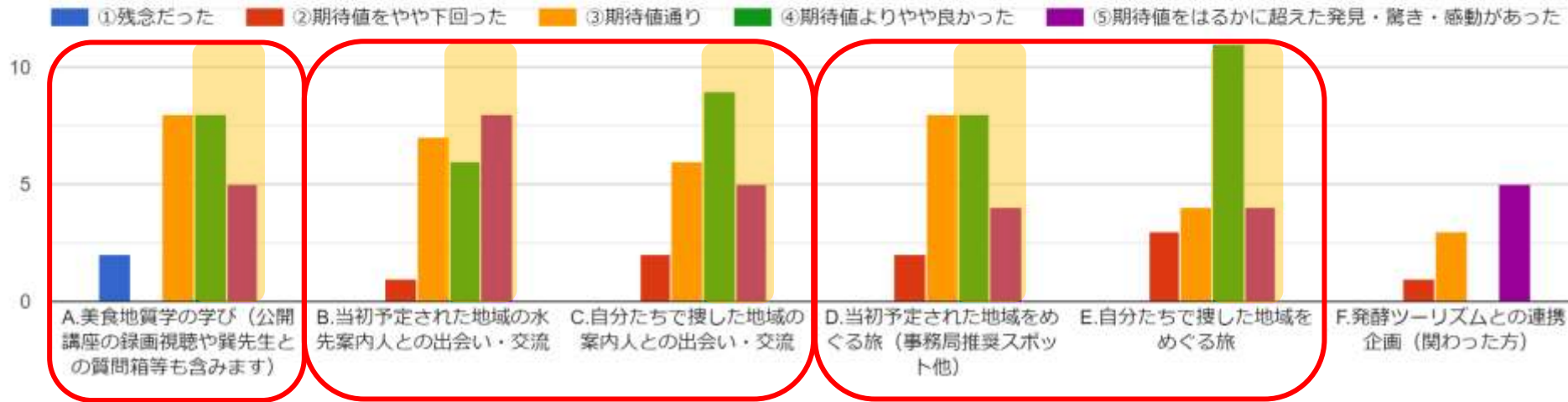
ラガード



16%

現地に行ってみて、期待値を超えた体験が多数

【総合評価】 6～9月のアンバサダー活動を通して「事前の期待通り...をお願いします。（※当初予定された地域＝添付図の地域です。）



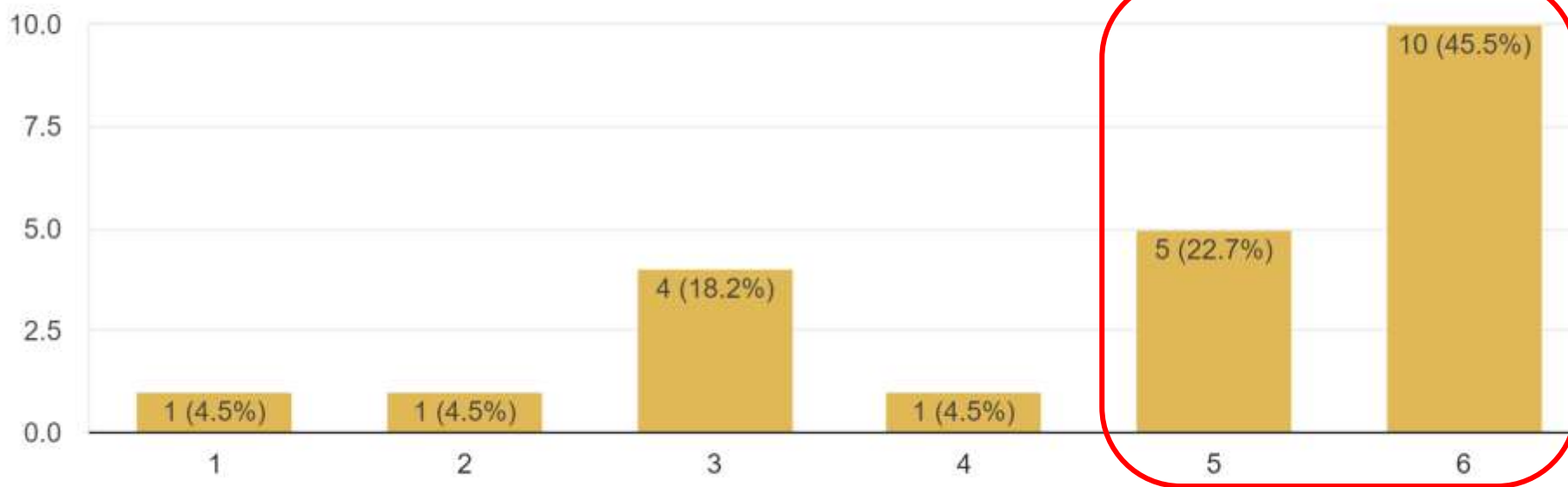
美食地質学

人との出会い

地域資源との出会い

21名中、15名は 半年で5～6回訪問

【現地訪問活動について】あなたは6～11月を通...だ月のリバイバル訪問含めて。見込みでOKです)
22件の回答

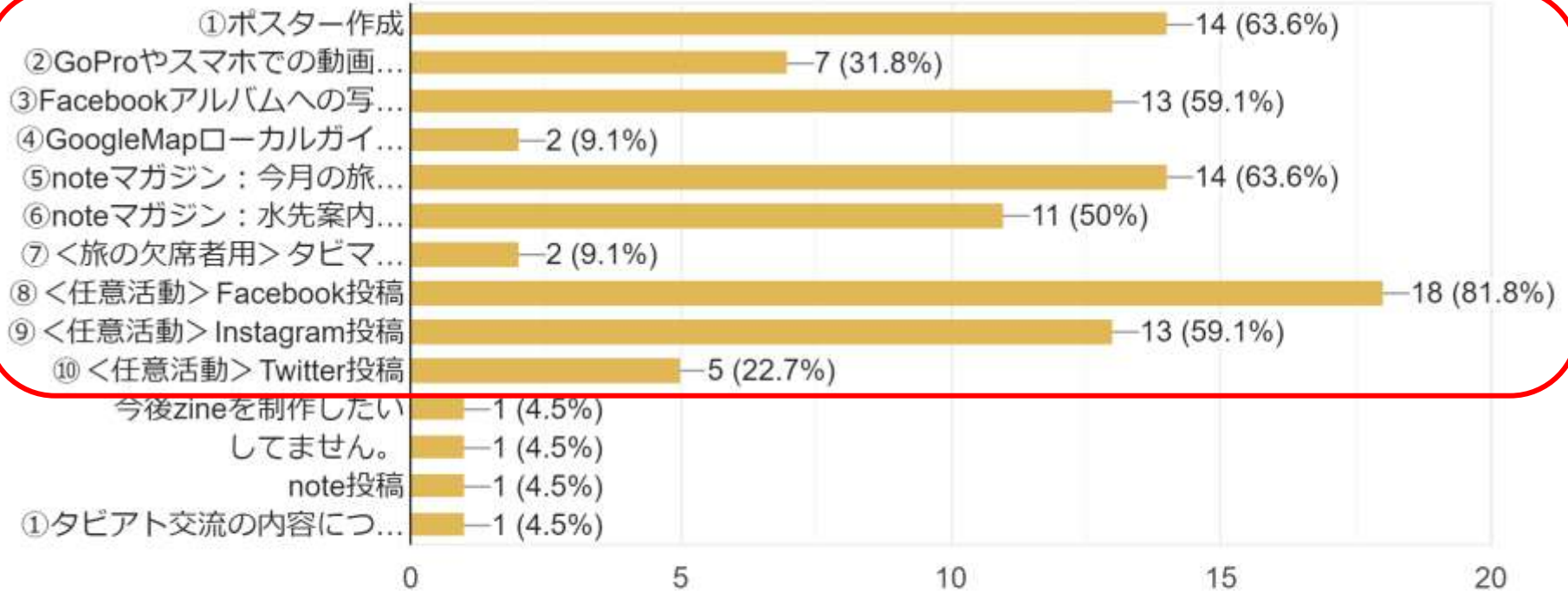


当初、月1訪問設定は多いか？という懸念もあったが、蓋を開けてみると、7割のアンバサダーが月1ペースで地域へ往復。→かなり地域の通に変貌。

タビアトレポート活動状況

【タビアトレポート活動について】まず、ご自身...したことがあるレポート活動を教えてください。

22件の回答



21名中、過半がSNS等でのタビアトレポート活動に積極的に参加。

タビアトレポート／50本を超えるnoteマガジン



地域ものがたるアンバサダー

2022年、地域ものがたるアンバサダー21名が訪れた。富山・福井・鳥取の旅の軌跡です。

55本

設定

同じ地域に訪問しても、刺さったポイント、その後の活動に多様な個性が！

固定された記事



地域ものがたるアンバサダー
美食地質学×第2のふるさとを巡る...

「地域ものがたるアンバサダー」プロジェクトはなぜ生まれたの？ ▶ これまでの歩みは？ ▶ 今後の活動...

13



敦賀湾を独り占め！ちょっと贅沢気分なランチ

☆ここじゃなくても随所にこだわり ランチをいただきたい♪ふんばいさんは、40年ほど前から営業されている...

18



北陸新幹線延伸でまちづくりを新たなステップへ〜敦賀市賑わい創出...

はじめての北陸からはタビ・旅好きの家庭をお集りする際に、もの専攻（地方創生）と特長（情報収集）を活か...

4



【福井8月旅】気比神宮

地域ものがたるアンバサダー8月旅、福井県敦賀市に鎮座する気比神社の歴史、社務所にて夏、秋の2回、10月...



知らない街に降りたい場所を作る方法 - 富山県滑川市へ訪問@地域も...



福井タビアトレポート【7月訪問】

詳しくは、アンバサダーが書くレポート1〜8をご覧ください。1〜7はすでに公開済みです。

今後活動したいこと／リアル活動内容が多い！

	人	活動したいこと
リアル開催	12	訪問ツアーを企画・開催する。
	10	地域側プレイヤーの相談に乗る、手伝う、片腕になる。
	8	地域でイベントを開催する。
	7	地域にリアルスポットをつくる。（案内所、コワーキング、コミュニティカフェ、立ち寄り所・・・等々）
	6	特定の地域で複業する。
	4	美食地質学の学びを活かした、食のシーンのプロデュース（既存の店舗、メーカー、宿泊処等と連携）
	4	美食地質学の学びを活かした、地域産品のプロデュース（店頭販売、通販、オンライン飲み会等含む）
	3	特定の地域で多拠点居住する。
	1	敦賀ちえなみきでのイベントを定期的で開催
	1	富山の森林滞在、森を食べるツアー、森と水を深掘り体感する
	1	オリジナルTシャツやオリジナルのスタジャンなどを作成してみたい
1	みなさんと作ったツアーに参加してみたい。夜とかに現地とオンラインでの交流会をみなさんでしてみたい。	
オンライン開催	5	オンライン旅（お取り寄せ交流会等）を開催する。
	6	講座・カルチャースクールをつくる。
	2	定期配信の番組をつくる。（ラジオ、Voicy、Spotify、YouTube等）
案内媒体の充実	9	冊子、パンフレット等をつくる。（地域の訪ね方、人との出会い方的な）
	6	アンバサダーとしての学び・経験を活かした、地図をつくる。
	6	デジタル媒体をつくる。（WEBページ、アプリ、SNS公式アカウント運営等）
	6	連載コラムをつくる。（西Navi含むフリーペーパー、WEB媒体等）
	2	美食地質学の学びを活かした、案内ツールのプロデュース。（看板、パンフレット、音声ガイド等）
	1	タビアトポスター作成の経験は大変楽しく、もっとたくさん作りたくってしまいます。
1	アンバサダー活動のnoteをもっと充実させて、地域に行きたくなる、魅力を発信できる記事を研究。	

活動期間中に既に取り組みました事例

【福井県】発酵ツーリズム展×美食地質学のコラボを提案



【富山県】滑川ソーシャルカフェを2回開催→継続へ

1st 価値のある繋がりが生まれる
滑川ソーシャルカフェ
2022年9月29日(水) 18時~21時 開催

お店には誰も誘わず一人で来店してね。

カフェロール

入場料は3000円ドリンクの軽食付き

今日店長
ばいばいこ村代表理事 樋口幸男

店内ではお札お酒入込ドミナーでもOK

お店も変わる! ?
一日店長によって運営されるカフェ



【福井県】敦賀駅前に開業したちえなみきでトークイベント



【富山県】ビジネスアイデアコンペに応募してみる

GIS×関係人口
『また会いたい』ゆるいつながりのきっかけをつくる地図。

アンバサダー発案事例 1

9/24(土)、発酵ツーリズムにっぽん/ほくりく & 地域ものがたるアンバサダーのコラボ企画が実現!

2022年9月17日〜12月4日の8日間、連携創発の森楽館(福井県あわら市)にて「発酵ツーリズムにっぽん/ほくりく」が開催されます。「発酵」視点で日本の伝統と向き合う共創、もともと抱く「地域ものがたるアンバサダー」が日本海3県をめぐり、ソコと地域固有の魅力を発信しながら新たな魅力を発信します。「発酵×地質」から紡ぎだしていくのを目指して、9/24(土)〜9/26(日)の3日間、森楽館(福井県あわら市)にて「発酵×地質」をテーマとした「発酵デザイナー・小倉ヒラクと地質学者・箕好幸のクロストーク」を開催します。当日は、発酵デザイナー・小倉ヒラクと地質学者・箕好幸のクロストークを開催します。ぜひお越しください。

JR西日本「地域ものがたるアンバサダー」プレゼンツ

発酵 × 地質

なぜここで発酵文化は興ったの？
なぜ今この地域で発酵文化が盛られているの？
「発酵×地質学」を掛け合わせると見える世界

発酵デザイナー・小倉ヒラクと
地質学者・箕好幸のクロストーク

9.24 SAT 15:00-16:00

会場/発酵ツーリズムにっぽん/ほくりく(森楽館内)
(津波被害の森楽館 1フロアA-1)

参加費無料 (ただし入場料は別途必要となります)
当日会場へお越しください。



中野真知子

発酵地質

地域ものがたるアンバサダーからのメッセージ

日本各地、そして海外でも様々な発酵食品が生まれ、その歴史は古く、文化も多岐にわたります。発酵食品は、その地域固有の気候、土壌、水質、そして人の知恵によって生まれます。発酵食品は、その地域固有の気候、土壌、水質、そして人の知恵によって生まれます。発酵食品は、その地域固有の気候、土壌、水質、そして人の知恵によって生まれます。

酒と水、そして地質の密接な関係

酒造りには、水と地質が重要な役割を果たしています。水は、酒造りの原料であり、地質は、水の味や硬度に影響を与えます。酒造りには、水と地質が重要な役割を果たしています。水は、酒造りの原料であり、地質は、水の味や硬度に影響を与えます。

地域ものがたるアンバサダーが、ほくりくを巡り、出会いの味わい話もった、儲け人たちが、お土産から地域振興のサポートまで行っています。



アンバサダー実践事例 2



1st 価値のある繋がりが生まれる
滑川ソーシャルカフェ
2022年9月29日(木) 18時~21時開店

お店には誰も話わず一人て来店してね。

カフェルール

入場料は3000円
ドリンク軽食付き

今日の店長



ばいばいこ村代表理事
樋口幸男

店内では名札必須
ハンドルネームでもOK

お店も変わる!?
一日店長によって運営されるカフェ

今回のお店「ボードゲームカフェあんでじ」〒936-0027 富山県滑川市常盤町1-1-9

滑川ソーシャルカフェは「価値のあるつながりが生まれる場所」。「ここに来れば誰か面白い人に会える」を目指しています。人が集まり、交流が生まれ、面白い人間関係を築き、コラボレーションから生まれる新しいアイデアなんか生まれたら良いな。「ここ」が皆さんにとってなくてはならない場所になれば良いな。そんな想いを込めて滑川ソーシャルカフェをはじめました。第1回目になる今回はボードゲームカフェあんでじをお借りして開催します。ボードゲームを楽しみながら新しい繋がりをつくりませんか?

ゲスト株式会社ひまじん代表取締役相川知輝



アンバサダーが主体的アクションに至った要因

＜考察＞
なぜ主体的な
アクションに
至ったか？

【今期中の具体例】	【モチベーション】	【具体のアクション】	【行動に移るポイント】
<p>①noteマガジン他による魅力情報発信 (新たなSNS活用したい意向も)</p>	<p>地域の方々にめっちゃめっちゃお世話になったので恩返しをしたい！</p>	<p>今足りていないと思う、魅力の発信、自分なりの愉しみ方のアレンジ</p>	<p>地域側から「～～が足りていないので知恵がほしい」等具体のオーダーがあると動きやすい。 (ありがた迷惑かな…等と遠慮してしまう)</p>
<p>②発酵ツーリズム展×美食地質学コラボPJ</p>	<p>「これをぜひ広めたい、応援したい！」という共感が湧き上がる。</p>	<p>既に動き出しているPJがあり、それにのっかる、応援する形でコラボ。</p>	<p>ゼロから事を起こすのは大変だが、乗っかってコラボする、付加価値をつける等は初動しやすい。</p>
<p>③滑川空き家滞在からのソーシャルカフェ開催 (交流の場づくり)、 ④アイデアコンペへの参加 (デジタルツール)</p>	<p>都市部より地方の方が足りないピースが見つかる、頼られている感がある。 (やりがい)</p>	<p>プロではないので仕事としてはできなくても、趣味兼プロボノとしてならやりたい、できる！ →実施ハードルが低い</p>	<p>自分のアンテナが昔から高かった「趣味、関心分野」と、地域資源がうまくマッチする。</p>

地域が第2のふるさとになるステップと課題

▼地域のトリコになるステップ

▼ハードル・惜しい点

Step1
自分自身が再訪したくなる

その地域で活動する
方々の想い・熱意に触
れるたび
(今まで知らなかった
世界に触れる)

共感する
↓
応援したくなる

現地に行くこと、会うこ
と、食べるのがまずは
応援の第一歩！と思
い再訪。

日本人は皆忙しい?!
滞在がいつも駆け足。
¥と仕事の都合がゆる
せば、**もっと暮らすよ
うに旅**できればいいのに。
【🔍仕事】

Step2
周囲を巻き込みたくなる
価値を伝えたくなる

この共感・感動を誰か
に伝えたくなる
↓
まずは個人的にSNS
発信

もっと沢山のの人に知って
もらいたい
↓
発信媒体整備、
ツアー企画

周囲から反響
→共感の渦が自然に
伝播
↓
趣味サークルのように、
地域ファンクラブが自走

地域の魅力情報発信
ポータル、コミュニティの
乱立→埋もれる問題と、
地域側の案内負担軽
減のために・・・
【🔍コミュニティの力】

Step3
地域の役に立ちたくなる

地域の実情を知るにつ
れて、足りないピースが
見つかる

自分が足りないピース
にお役に立てそう
↓
やりがい、モチベーション

地域の人々のPJを応援
／チームを組んで乗り
込む／自分でPJを立
ち上げる。

個人のプロボノ活動に
甘えている面が多い。
→複業推進により、旅
費負担と地域側窓口
人材不足を解消したい。
【🔍お金】



地域が第2のふるさとになるステップと課題

「ハードル・惜しい点」から、3つの鍵をピックアップ。

1. 個人の再訪フェーズ

【🔑 仕事】

日本人は皆忙しい?! 滞在がいつも駆け足。¥と仕事の都合がゆるせば、**もっと暮らすように旅**できれば、より多面的な地域の魅力に触れあってもらえるのに…!

(雑感) ※今後議論できれば。

- ワケーション、遠隔地リモートワーク（在宅勤務でなく）があまり浸透せず元に戻ってしまったから…?
- 自営業、ベンチャーの方も案外忙しく駆け回っている。（客先都合?）
- もっと欧米型のように、長期放浪しながら仕事が捗るスタイル（後ろめたくない）が多くの日本人に浸透すれば、1週間単位で地域滞在できると、触れ合えること、見えてくる地域実情が変わってくるのに。

2. 周囲巻き込みフェーズ

【🔑 コミュニティ】

地域の魅力情報発信ポータル、コミュニティが乱立し埋もれる問題と、地域側の案内負担軽減のため
に…

- 自分が「素敵」と思った地域・モノ・コト・人を発信しようとしても… 昔と違い、SNS乱立時代。埋もれてしまう。簡単にバズらない壁。
- 登録者2.2万人のFBコミュニティ「瀬戸内が大好き!」のような負担感のないコミュニティ…?
- 他者を地域に送り込むときは、ご案内の負荷が地域側にかかりすぎないように、①自身が代わりの案内役として成長。②案内人なしで行けるツール開発。③現地で会うべき人に出会える仕組み。（拠点やマッチングプラットフォーム）

3. 地域に入り込むフェーズ

【🔑 お金】

個人のプロボノ活動に甘えている面が多い。
→複業推進により、旅費負担と地域側窓口人材不足を解消したい。

- 「地域の人々の片腕になりたい!何か実行したい!」と思った時の最初の壁は「お金」。サラリーマンで十分な給料をもらっていてプロボノでいい場合は「時間」。
- 「首都圏から往復するには、脱出コストが高い!時間がかかる!」という方には、近郊都市圏へのプチ移住もオススメ…?
- 1人工かかったら回らない地域事業 → 2~3割の複業コストでまわる、担い手補給できる地域事業をどんどんつくるべき。（通いで回す、外から回す）



大地の声、人々の営みに耳を傾け、交流&発信!
未来の地域づくりに繋げる1年間!



地域 ものがたる アンバサダー

美食地質学×第2のふるさとを巡る旅

おいしい旅物語へ、
一緒に！
Dr. TATSUMI

